

第二期 宮崎市子ども・子育て支援プランにおける 教育・保育に関する「量の見込み」中間見直しについて

参考 内閣府子ども・子育て本部発出の令和4年3月18日付事務連絡
「第二期市町村子ども・子育て支援次行計画等に関する中間年見直しのための考え方について」

- (1) 実績値の把握
- (2) 「実績値」と「量の見込み」との比較
- (3) 要因分析
- (4) 「量の見込み」の補正
- (5) 提供体制の確保の内容変更

(1) 実績値の把握

※令和3年4月1日時点における実績値に基づく

(2) 「実績値」と「量の見込み」との比較（乖離状況）

※教育・保育給付認定区分ごとに、市町村計画における「量の見込み」（必要利用定員総数）と比較し、10%以上の乖離がある場合は、原則として見直しが必要と判断し、要因分析及びそれに基づく見直し作業を行うこととする。

量の見込みと区分		R2			R3			R4			R5	R6
		計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	計画
教育のみ		3,433	3,084	89.8%	3,283	3,031	92.3%	3,132	2,885	92.1%	3,083	3,049
	1号認定	2,152	1,940	90.1%	2,058	1,771	86.1%	1,963	1,692	86.2%	1,933	1,911
	2号認定(教育)※新2号	1,281	1,144	89.3%	1,225	1,260	102.9%	1,169	1,193	102.1%	1,150	1,138
教育・保育	2号認定(教育・保育)	6,858	6,916	100.8%	6,827	6,919	101.3%	6,780	6,909	101.9%	6,674	6,601
保育のみ(1・2歳児)	3号認定	4,660	4,709	101.1%	4,715	4,621	98.0%	4,821	4,489	93.1%	4,738	4,647
保育のみ(0歳児)	3号認定	746	669	89.7%	749	645	86.1%	750	610	81.3%	735	719
計		15,697	15,378	98.0%	15,574	15,216	97.7%	15,483	13,201	85.3%	15,230	15,016

※見直しの要否については、市町村の実情を踏まえて検討。また、乖離の原因が、新型コロナウイルス感染症等の影響によるものである場合には、令和5年度以降に見直しを行うことや、当該影響を充分留意した上で補正を行う。

(3) 要因分析

※3号認定（0歳児）において、86.1%（-13.9%の乖離）となっている要因の分析を行う。

要因1 下表のとおり、令和2年度以降、0歳人口の推計において、実績との乖離が続いている。乖離状況の大きな要因としては、まず、出生数の低下が考えられる。

さらに、出生数の低下の要因として、【内閣府：令和3年度 少子化の状況及び少子化への対処施策の概況】において、“新型コロナウイルス感染症が流行する中で、婚姻件数及び妊娠届出数に減少傾向が見られる。（対前年比-12.7%）”、“出生数についても、妊娠から出産までの期間を踏まえると、2020年12月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が出始めているものと考えられる。”との記載があることから、新型コロナウイルス感染症が影響しているものと考えられる。

▼児童数の推移（推計と実績との比較表）

年齢	R2			R3			R4		
	推計	実績	差(人)	推計	実績	差(人)	推計	実績	差(人)
0歳	3,305	3,156	-149	3,250	3,045	-205	3,191	2,995	-196
1歳	3,308	3,306	-2	3,380	3,217	-163	3,324	3,127	-197
2歳	3,433	3,456	23	3,306	3,304	-2	3,378	3,217	-161
3歳	3,563	3,575	12	3,455	3,505	50	3,327	3,355	28
4歳	3,615	3,622	7	3,569	3,592	23	3,461	3,540	79
5歳	3,739	3,753	14	3,630	3,630	0	3,584	3,631	47
計	20,963	20,868	-95	20,590	20,293	-297	20,265	19,865	-400

要因2 出生数の低下以外の要因を分析する。

※第2期プランにおいては、以下の計算式により、「量の見込み」を推計している。

$$\text{①「推計児童数」} \times (\text{②「潜在家庭類型」} \times \text{③「利用意向率」}) = \text{「量の見込み(人)」}$$

▼計画策定時の申込率と、実績の申込率を比較すると、1号認定と3号認定(0歳児)のみ2ポイント以上の乖離が見られ、申込率の若干の低下が見られる。

②「潜在家庭類型」×③「利用意向率」
↓いわゆる「申込率(推計)」のことで、同プランでは就労率の高さ等を踏まえ、令和4年度以降は同じ申込率で推計している。

R2		児童数		1号(認定申込)			2・3号(認定申込)			
年齢	推計	実績	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)
0歳	3,305	3,156					22.59%	746	21.20%	669
1・2歳	6,741	6,762					69.13%	4,660	69.64%	4,709
3～5歳	10,917	10,950	31.45%	3,433	28.16%	3,084	62.82%	6,858	63.16%	6,916
計	20,963	20,868						12,264		12,294

R3		児童数		1号(認定申込)			2・3号(認定申込)			
年齢	推計	実績	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)
0歳	3,250	3,045					23.04%	749	21.18%	645
1・2歳	6,686	6,521					70.52%	4,715	70.86%	4,621
3～5歳	10,654	10,727	30.82%	3,283	28.25%	3,031	64.08%	6,827	64.50%	6,919
計	20,590	20,293						12,291		12,185

R4		児童数		1号(認定申込)			2・3号(認定申込)			
年齢	推計	実績	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)	申込率※推計	推計(人)	申込率(実績)	実績(人)
0歳	3,191	2,995					23.51%	750	20.37%	610
1・2歳	6,702	6,344					71.94%	4,821	70.76%	4,489
3～5歳	10,372	10,526	30.20%	3,132	27.41%	2,885	65.37%	6,780	65.64%	6,909
計	20,265	19,865						12,351		12,008

(4) 「量の見込み」の補正

(5) 提供体制の確保の内容変更

「量の見込み」及び「提供体制の確保の内容(確保方策)」について、(1)～(3)に沿って実績に基づき、量の見込みとの比較、要因分析を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響下における出生数の変動に関する想定(今後更に第8波がくるのか、産み控えの反動が起きるのかなど)が現時点では困難であることから、現行プラン期間中の推計児童数の補正は行わないこととする。ただし、「量の見込み」が10%以上乖離のあった3号認定(0歳児)についてのみ、申込状況の実情にあわせ、直近の申込率の実績値(令和4年4月1日時点)により補正を行うこととする。

なお、第一期プラン中間見直し時と同様に、教育・保育提供区域ごとの見直しは行わず、市全体の合計値のみの補正とする。